

公表:令和8年3月23日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール投げ、戦いごっこ等活動が激しくて危ない時は声をかけて扉を閉めて部屋を分けている。</li> <li>・適切ではあるが、学年が上がってきており、身体も大きくなってきているので、今後は狭く感じていくのではないかと思う。</li> <li>・普段過ごす分には適切にも思えるが、子ども達がボール投げ等体を動かして遊ぶと、狭さを感じる。</li> <li>・子ども達が自由に活動出来るよう工夫しています。</li> </ul>	⇒安全に配慮し、2部屋あることを活かして、活動内容によって、分けるなどの対応をしていきたいと考えています。
	② 職員の配置数は適切であるか	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置数は適正になるよう調整しているが、職員を増やして支援負担を減らしたり、休みたい時に休みを取れるようにしたい。</li> <li>・適切ではあるが、送迎が複数重なってしまうと、支援職員が一時的に少なくなってしまう時間帯がある。</li> <li>・送迎等で人が少なく感じる時もあるが、各部屋に職員が配置され、声も掛け合いやすい。</li> <li>・適切には配置されていると思うが、強いて言えば余裕が欲しい。</li> <li>・十分とはいえないが皆で協力しています。</li> </ul>	⇒職員配置は、法令基準を満たしており、さらに職員を加配しています。 ⇒送迎時間が重なり、1名を残し、一斉に送迎に出してしまう、個別支援が必要な児が重なる等、時間帯によって、一時的に体制上、もう1名配置したい希望もありますが、現実的には人材不足の中、簡単には、増員できない状況です。 ⇒職員の勤務時間の見直し(短時間勤務で複数名の職員配置)なども含め、十分な支援体制がとれるよう検討していきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ等の壁紙を綺麗に張り替えて環境整備をしている。賃貸物件なので出来る事に限界があり、玄関の上り口など、バリアフリーではない。</li> <li>・賃貸物件のため、完全なバリアフリー化は難しいと思うが、補えるところは補ってやっていかなければならないと思う。</li> <li>・玄関、ユニットのトイレに段差はある。</li> </ul>	⇒賃貸物件のため、段差解消の改修工事は困難ですが、介助の必要な利用者に対しては、複数の職員で対応するなどの合理的配慮を行なっていきます。 ⇒玄関の段差については、木製の踏み台を設置して、段差の高さを小さくするように検討します。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容に沿って行なっていると思います。</li> <li>・職員全体での話し合いがなされていると思う。</li> <li>・支援前の確認、支援後の振り返りを行なっている。</li> <li>・非常勤、短時間勤務の職員に話が伝わっていない時がある。</li> </ul>	⇒目標設定や振り返りに、自由に意見を出し合えるような職場風土、体制を構築していきます。 ⇒どの職員でも、情報がきちんと共有できるように丁寧に伝達を行ないます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートに多くの方の参加をいただき、声もいただいているので、真摯に受け止め対応できる部分は改善を図れるようにしたい。</li> <li>・様々なご指摘、ご意見をいただいて改善につなげている。</li> </ul>	⇒様々な保護者からのご意見を参考にしながら、改善できることをしっかりと対応していきます。

公表:令和8年3月23日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				・ホームページに掲載されており、いつでも閲覧可能である。	⇒ホームページ上で公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		1	3	・理事会等で話されているかもしれないが、参加していないのでわからない。 ・外部の第三者機関に評価の依頼をしていない。	⇒第三者評価機関への依頼はできていません。県が実施する運営指導があれば、きちんと評価を受け、改善につなげていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				・ジョブメドレーアカデミー研修や実技研修も行っている。	⇒年間研修計画を立て、法人全職員を対象とした定期的な研修の機会を確保しています。シュミレーション研修など、実際の支援を想定した実践的な研修も取り入れています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				・5領域を網羅したアセスメントを活用し、計画の作成を行なっている。 ・保護者面談をして、児童発達支援管理責任者を中心に職員間で話し合い、確認して作成されている。	⇒保護者や子どもだけでなく、相談支援事業所等からの情報も参考にし、課題分析しています。 ⇒課題の客観的分析の方法については、新たな支援計画作成に関わるソフトの導入も含め検討しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				・めだか独自の5領域を網羅したアセスメントを活用し、計画の作成を行なっている。	⇒5領域を網羅したオリジナルのアセスメントシートを使用して運用されています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1			・イベントや外出等の活動において事前に職員間で話し合われている。 ・職員同士で、それぞれの利用者に合うようなプログラムを検討している。	⇒活動内容は5領域の視点、利用者の要望等も取り入れて検討するようにします。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2			・普段は子どもが主体的に活動できるように支援している、長期休みでは外出や季節のイベント等固定化しないようにしている。 ・固定化しないように話し合いはするが、子ども達からの強い要望についてはなかなか変えられない部分もある。 ・学校がある時は送迎の関係や時間の都合などの影響で、固定化してしまう難しさもある。 ・変化をさせたり、子どもの状況に合わせて対応するなどの工夫はしている。	⇒固定のプログラムの方が安心して過ごせる利用者もいらっしゃいます、時間の制限もありますが、できる限り、同じ活動だけでなく、新しいプログラムを提供できるようにしていきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ、細やかに設定して支援しているか。	4	1			・長期休みは、預かり時間も長くなるので、普段できない活動を積極的に取り入れている。 ・長期休み中の外出は起案書を作成し、細やかな設定をしている。	⇒長時間利用時は、学校下校後の短い時間に比べ、1日を通した活動、午前、午後で分けた活動など、バラエティに富んだ活動になるよう工夫していきます。

公表:令和8年3月23日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1			・集団活動がメインにはなっているが、その子の状態に合わせて個別の活動も組み合わせたものになっている。 ・集団で活動していることが多いが、子どもの様子で個別でも活動することがある。 ・個別と集団を適宜組み合わせるのは難しい。特に集団活動が難しい児もいる。	⇒5領域すべてを関連づけられるような支援を提供することを基本とし、個別、集団活動を組み合わせた計画書を作成します。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1			・気をつける事等、送迎の打ち合わせはするが、活動時の役割分担はしていない。 ・午前、午後それぞれの時間帯で、打ち合わせを行うようにしている。	⇒支援内容などの確認と共有はもちろんですが、スケジュールや送迎の変更等があれば職員全体に伝わるよう工夫をしていきます。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				・毎日している。 ・休みの職員には、翌日伝達して共有している。 ・終礼でその日の子ども達の様子のお話をします。	⇒情報共有に関しては、日々の職員間のコミュニケーションを充実させてより緊密にしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				・個別支援計画書を見ながら、その日の子ども達の様子を当てはめながら記入し、他の職員とも共有する。 ・記録の入力だけでなく、打ち合わせの際に気づいたことなども話せるようにしている。 ・見たままを記録し、私感を入れないようにしている。	⇒記録をしっかりと残していくだけでなく、それが、職員間で共有され、より良い支援につながるよう努めています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5				・定期的にモニタリングを行い支援につなげていると思います。 ・半年に1回を目安に、モニタリングを実施、見直しの必要性を判断している。	⇒モニタリングにおいて、計画の見直しや新たな支援の内容など、職員の意見や保護者の意見を参考に充実させていきます。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1			・課題を複数用意し、できるだけ飽きないような工夫をした活動にしている。 ・それぞれ子ども達で決めた活動をしているが、職員も課題や活動を提供する。	⇒利用者が主体的に考え、活動できるよう工夫しながら支援を行いたいと考えています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				・児童発達支援管理責任者、または管理者が参加するようにしている。	⇒専門職が参加し、関係機関との連携を図っていきます。

公表:令和8年3月23日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②① 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	2			・学校との情報共有等、確認はするが、変更等があり連絡が来ないと急な対応が出来ない事がある。 ・下校時間の変更が急遽ある場合、学校から直接連絡してもらうこともあり、連携はとれている。	⇒学校、事業所それぞれの情報について、必要に応じ、共有できるよう適切に行なっていきます。
	②② (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		1	2	2	・医療的ケア児を受け入れていない為分からないが、受け入れる場合は体制を整えなければならないと思う。	⇒今後そのような対象の利用者が出てきた場合には体制を整えていきます。
	②③ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に務めているか	3			2	・同法人事業所内においては、事前に情報共有に努めている。	⇒相談支援専門員との間で事前の情報提供や共有などの調整を行っていることが多いが、事業所間に関しても必要に応じて対応します。
	②④ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	2		2	・先方からの問い合わせがあった際、情報提供を行なっている。	⇒必要に応じて連携を図っていきたくと思っています。
	②⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1			・保護者交流会の講師として、相談支援専門員を呼んだり、法人内の連携として助言や研修の参加をしている。 ・法人内の児童発達支援センターで研修を受ける事がある。	⇒専門職である基幹相談の相談員からの助言等、必要に応じて連携していきます。
	②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4			・外出先で活動する事はある。最近では外出が減ってその機会が少なくなっている。 ・積極的ではないが、公園等で、地域の子どもたちと一緒に遊んだりすることはある。 ・夏、学校のプール開放や外出先では障がいのない子どもたちと出会う場面がある。	⇒地域にある防災センターや、公共の場(小学校プール)、公園等で活動を行っており、分け隔てなく地域の子どもたちとの交流も進めていきます。
	②⑦ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5				・こども支援部会、相談・地域支援部会に参加している。	⇒管理者や児童発達支援管理責任者を中心に内容によっては支援員も参加していきたいと思っています。
	②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				・送迎の際、面談時、電話等での対応で、日頃から共通理解を持つように努めている。 ・保護者とは送迎時やLINEでその日の活動や様子を伝えている。	⇒今後も丁寧な対応を心掛けていきます。
	②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1		・保護者交流会では、疑似体験を含む子どもへの関わり方について、勉強会を行なった。 ・ペアレント・トレーニングは法人で市民向けに講座を開催した。	⇒次年度、法人で実施するペアトレ講座のスタッフとして職員1名を派遣する予定です。トレーナーの養成に取り組んでいきます。

公表:令和8年3月23日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				・契約時に管理者から説明を行なっている。	⇒契約時に丁寧に行ないます。不明な点、指摘があれば、その都度対応していきます。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				・相談があれば、電話や面談で相談に応じている。 ・児童発達支援管理責任者を中心に、電話やLINE、面談等で必要な助言や支援を行なっている。	⇒管理者や児童発達支援管理責任者が適切に対応していきます。また各担当の相談支援専門員等とも連携を図っていき、情報共有に努めます。
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5				・年に2回(親子バーベキュー、保護者交流会)を開催し、保護者同士が連携できるような機会を設定している。	⇒保護者交流会の内容を充実させ、多くの方に参加していただけるよう工夫していきます。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				・苦情受付の窓口や解決責任者を設置し、迅速に対応できるよう、マニュアルも整備している。	⇒迅速かつ丁寧な対応により、安心してご利用していただけるように努めています。
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				・毎月、めだか通信を発行し、子ども達の様子や予定が分かるようにしている。 ・めだか通信、ホームページで活動の様子を伝えている。	⇒毎月のめだか通信の発行、ホームページでの活動写真のアップ、またイベントや悪天候時の連絡など、正確に情報発信を行なっていきます。
	㉕ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5				・個人情報使用同意書による確認を行なっている。個人情報が書かれている書類は、鍵付きキャビネットにて保管している。	⇒契約時に説明し、同意をいただき、情報の保管と使用には細心の注意を払っていきます。また職員への指導を徹底していきます。
	㉖ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				1 ・配慮しているが、伝える為の言葉選びは難しい。 ・保護者へはできるだけわかりやすい説明、ひらがなのみでのLINE、子どもたちには絵カードやジェスチャーなどで対応している。	⇒正確に、わかりやすく、誤解を招かず、ご理解をいただけるよう十分に配慮をしながら発信していきます。
	㉗ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	1	・ザリガニ釣りについては、地域住民の協力を得て活動している。 ・流しそうめん、みかん狩りは地域の方に協力をお願いした。 ・特に招待をする機会は設けていない。	⇒利用者の活動や体験を、地域の方と協力しながら取り組んでいきます。 ⇒法人としては、市内で児童発達支援事業を利用されている保護者を対象にしたペアレント・トレーニングの事業を行ないました。
㉘ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	1	4			・マニュアルはあるが、自分自身が周りに理解できていない。再度よく確認しておきたい。 ・マニュアルの周知は十分とは言えないと考える。	⇒保護者に対して簡略化したわかりやすい内容のもの(リーフレット等)を使って周知をしていきたいと思っています。	

公表:令和8年3月23日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				・地震、火災等の避難訓練、防災センターに行き、体験学習したり、広域避難場所にヘルメットをかぶって行った。	⇒警察や消防の力を借りて、法人内で実施している防犯対応やAEDの取り扱いなどの研修を受講していきたいと思っています。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				・年間の研修計画の中で、座学、実地の研修を組み合わせおこなっている。	⇒虐待研修は義務化もされていますので、年間計画を立て、職員の質の向上のため、事例検討などの研修を行ないます。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			1	・やむを得ず実施する場合は説明、同意をすることになっている。 ・個別支援計画書に記載し、同意をいただくことになっている。	⇒身体拘束はしないことを原則としつつ、緊急やむを得ず身体拘束を行う場合には、保護者、学校などあらゆる関係機関から意見を聞き、事前に説明と同意の上、計画書へその内容を記載した上で実施します。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	1	3		1	・保護者からアレルギーについて教えてもらい、何がどのくらい摂取出来るのか、ダメなのかを紙に記入し、目の入る所に貼られている。	⇒対象となる子どもがいらっしゃる場合、どの食品がアレルギーになるのかを確認し、表にして職員が確認できるようにしていきます。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		1	・事例集があるのかは分からないが、どんなヒヤリハットが上がったかは共有している。 ・発生したヒヤリハットに関して、具体的な予防策、対応策を検討している。	⇒事業所内で起きたヒヤリハットを毎月まとめ、確認をしています。ヒヤリハットの事例をもとに、具体的な対応策をその都度確認しています。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

・関わっていない質問ではコメントに悩む所が何か所かあった事と内容が多かったのもう少し検討して頂けたらと思いました。

・アンケートに答えづらい、よくわからない問いがある。質問量が多くて時間がかかる。